

自閉症スペクトラム障がいの主な 障がい特性

リフレミングしてみると

社会的コミュニケーションの障がい

①話し言葉を聞いて理解するのが苦手	目で見た情報は理解しやすい
②表情や身振りなど、言葉以外の手がかりを読み取ることが苦手	明確にはっきりと伝えられることを好む・理解しやすい
③暗黙の了解を理解したり、状況に合わせた行動をとることが苦手	求められていることや状況が明確であれば守ることができる
④人に伝える時に知っている言葉をうまく使えない	言葉(音声)以外の方法で伝えることができる
⑤人に何かを伝えようということに気が付きにくい	しっかりと伝えてくれる安心できる相手であれば興味を向けやすい
⑥状況や文脈をうまく読み取れず、一方的なかわりになりやすい	かわり方のルールが明確になっていれば守ることができる
⑦別のやり方を探したり臨機応変な対応が苦手	状況に左右されず、粘り強く取り組むことができる
⑧集団で一斉に行動することが苦手	マイペースに課題を完了させることができる

限定された反復的な行動様式

⑨興味・関心の幅が狭い	好きなことについては、強い関心を示す、エネルギーをつかうことができる
⑩「いつも」と違うこと・変化を苦手とする	慣れ親しんだこと・もの・やり方を好む
⑪先の見通しをうまく持てない	見通しが持てることには安心して自立的に取り組むことができる
⑫抽象的・あいまいなことの理解が苦手	具体的ではっきりしたことを好む

自閉症スペクトラム障がいの主な 障がい特性

リフレミングしてみると

限定された反復的な行動様式 続き

⑬物事の「始め」と「終わり」がわかりにくい。	「始め」と「終わり」がわかるようになっていければ安心して守ることができる
⑭経験のしていないことを想像することが苦手	経験したことは、しっかりと覚えられる
⑮特定の物事に強く固執	興味があること(趣味・仕事)に、積極的に取り組める
⑯特定の行為や行動を繰り返して行う	決まったパターンを「几帳面」に行うことができる

その他の特性

⑰能力の発達がアンバランスである	興味・関心、好きなことは抜群にできる
⑱記憶することが苦手	繰り返し体験することで記憶する
⑲感覚が独特である (例・感覚過敏・鈍麻、情報の取捨選択ができない)	些細な違いや変化に気付くことができる、 または非常に我慢強い
⑳身体の使い方が不自然で独特だったりする (例・手をヒラヒラせる・何度も同じことを言ったりする)	ゆとり時間をかければできる
㉑部分に意識が向き、全体を見ることが苦手 全体から部分を抽出することが苦手	一つのことには抜群の集中力を発揮する →焦点を当てるべき場所を明確化したり、全体を組織化したり することで、全体もしくは細部にポイントを向けることができる
㉒期待されていることに注意が向かない 多動性 (落ち着きがなく、動いてしまふ、とどまっていられない) 衝動性(結果を考えずに突然反応してしまふ)	興味・関心のあるものに、強く注意・集中 を向けることができる